

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	: PEフィルム
一般名称	: ポリエチレンフィルム
会社名	: 株式会社古河テクノマテリアル
住所	: 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡 5-1-8
担当部門	: 防災事業部 品質保証部
電話番号	: 0463-24-9341
FAX 番号	: 0463-24-9346
緊急連絡先	: 0463-24-9341
推奨用途及び使用上の制限	: 主として貫通部防火措置材料として用いる。

会社名(供給者)	: ネグロス電工株式会社
住所	: 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-40-1
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-5628-7122
FAX 番号	: 03-3681-1202
緊急連絡先	: 03-5628-7122

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性化学品	: 区分に該当しない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
呼吸器感作性	: 区分に該当しない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分に該当しない
誤えん有害性	: 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない
オゾン層への有害性	: 区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	: なし
-----------	------

注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし

注意書き

安全対策	: なし
応急措置	: なし
保管	: なし
廃棄	: なし
他の有害性	: なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物※

化学名又は一般名	含有量 %	官報公示No.	CASNo.
		化審法	
エチレン系樹脂	95 以上	登録あり	非開示
シリカ(非晶質)	0.5 未満	1-548	7631-86-9

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 溶融等の高温で発生するガスや、加工時に発生する微粉末を吸引した場合、直ちに空気の清浄な場所に移し、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 刺激があれば石鹼で洗う。万が一 高温で溶融したポリマーが皮膚に付着した場合は冷水で十分冷やす。皮膚に付着したポリマーは無理に剥がさない。不快感が残る場合は、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂など
- 使用してはならない消火剤 : 特に指定なし
- 特有の危険有害性 : 不完全燃焼した場合、一酸化炭素等の有毒なガスを発生する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 風上から大量の水または消火剤等により消火する。
- 消火を行う者の保護 : 大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。
- 環境に対する注意事項 : 必要に応じて適切な保護具を着用する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱
- 取扱い方法 : 加工中、静電気を発生することがあるので、静電気除去装置を必要な場所に適宜設置する。静電気による放電が起きないように、生じた静電気は静電除去装置等により積極的に取り除く。
引火性の溶剤等を使用するときは特に局所排気、全体換気を確実に行う。粉じんの発生や溶融を伴う作業をするときは、局所排気、全体換気を行う。
- 保管
- 安全な保管条件 : 熱源、発火源、強酸化剤から離れた乾燥した場所で、常温のもと紙または段ボール梱包で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標	
管理濃度	: 特に設定されていない。
許容濃度	: 特に設定されていない。
暴露防止	
設備対策	: 加工時に静電気を発生することがあるので、静電気除去装置を設置する。また、粉じん発生や溶融を伴う作業がある場合は、局所排気・全体換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器用保護具	: 粉砕作業等で粉じんが多い場合は防じんマスクの着用が望ましい。
手の保護具	: 必要に応じて、保護手袋を使用する。
眼の保護具	: 必要に応じて、保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて、保護着／安全靴等を使用する。
特別な注意事項	: なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 固体（フィルム状）
色	: 無色
臭い	: 無臭
融点・凝固点	: 100-130℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: 可燃性物質（消防法 指定可燃物）
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: 粉砕作業などで多量の微粉末が発生した場合、静電気による粉じん爆発の可能性がある
引火点	: >230℃
自然発火点	: >349℃
分解温度	: データなし
pH	: 適用外
動粘性率	: 適用外
溶解度	: 水に不溶
n-オクタール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.88-0.97
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: なし
化学的安定性	: 常温では安定で反応性に乏しい。
危険有害反応可能性	: 熔融などの高温では一部熱分解する。
避けるべき条件	: 高熱、炎
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼/熔融などの高温では、一酸化炭素等の有毒ガスを発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 主成分はエチレン系樹脂で消化器官で吸収されず、懸念される官能基を持たないため毒性は低いと考えられる。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 有用な情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 有用な情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 有用な情報なし
生殖細胞変異原性	: 有用な情報なし
発がん性	: 有用な情報なし
生殖毒性	: 有用な情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 有用な情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 有用な情報なし
誤えん有害性	: 有用な情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 有用な情報なし
残留性・分解性	: 生分解性なく安定で、環境中に長期間残留すると考えられる。
生体蓄積性	: 主成分はエチレン系樹脂で生体内に吸収されないため生体蓄積性はないと考えられる。
土壌中の移動性	: 水に溶解しないのでないと考えられる。
オゾン層への有害性	: 有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。
海、川、その付近及び排水溝に廃棄をしてはならない。
その他関係法令の定めるところに従う。
- 汚染容器及び包装 : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制

- 陸上運送 : 消防法 労働安全衛生法に該当の場合は法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている方法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
その他 : その他関係法令が該当する場合、その法に従う

15. 適用法令

- 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類 3,000kg 以上)
廃棄物処理法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類

16. その他の情報

- お問い合わせ先 : 品質保証部
TEL : 03-5628-7122

注意事項

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、その内容を保証するものではありません。新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用下さい。

以上